

令和 7 年度 第 2 回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和 7 年 8 月 1 9 日（火曜日）午前 1 0 時から午前 1 2 時まで
 開催場所 東京都心身障害者福祉センター 1 2 階研修室
 出席者 妹尾委員長、宮田副委員長、会田副委員長、岡田委員副委員長、相良委員、吉田委員、横山委員、徳嵩委員、樋口委員、渡辺委員、小出委員、清水委員、丹澤委員、徳武委員（皆川委員欠席）
 事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 和田 他 5 名
 公益財団法人総合健康推進財団職員 3 名

1 開会

事務局	- 資料確認 次第 資料 1 横断的な課題シート 資料 2 各研修プログラム 資料 3 用語集（令和 7 年度東京都サービス管理責任者等更新研修演習ノート抜粋） 参考資料 1 令和 7 年度サービス管理責任者等指導者養成研修プログラム案 参考資料 2 東京都のサービス提供事業において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む職場のリーダーの姿 Ver. 5 - 研修の委託先の公益財団法人健康推進財団の方と、本研修検討会を所管している東京都職員が参加している。 - 記録のため速記者が参加と録音させていただくこと、また、今回の検討会の会議録及び資料は公開するものとされるが、出席委員の意見により公開、非公開を決めることができる。
-----	---

2 報告事項

妹尾委員長	検討事項に入る前に、総合健康推進財団と事務局から、現在の研修実施状況の報告をお願いしたい。
総合健康推進財団	【基礎研修】 - 第 1 回は、受講決定者が 1, 3 9 2 名で、全 1 6 日程行う。ここに演習指導者養成研修受講者 2 5 名がファシリテーターとして参加。 - 第 2 回は、定員 1, 0 0 0 名で、現在募集中。動画の配信が 1 0 月 2 8 日から、ファシリテーター説明会が 1 0 月 3 1 日、演習は 1 1 月 1 2 日から全 1 0 日程。 【更新研修】 - 定員 1, 2 0 0 名に申込みが 9 9 5 名。事前動画の配信が 9 月 3 0 日から、演習は 1 0 月 1 4 日から全 1 2 日程。 【実践研修】 - 定員 1, 4 0 0 名で、募集期間は 1 0 月 7 日から 2 週間。
事務局	演習指導者養成研修は、初めて研修のファシリテーターを担っていただく方に関係者の推薦を受けて受講していただくもの。今年度は定員 5 0 名に 4 6 名の推薦申込みがあった。

	・第1回と第2回の基礎研修でファシリテーターを経験していただく。最終日程は来年の1月13日。
妹尾委員長	・ここまでで、ご質問等確認したい点がある方、挙手をお願いします。
各委員	(挙手なし)
妹尾委員長	・なければ、事務局から国が主催するサービス管理責任者等指導者養成研修会についての説明をお願いします。
事務局	・令和7年度の国研修は、9月9日から12日にかけて実施予定。プログラム案は、参考資料1のとおり。 ・9月9日はオンラインで、専門コース別研修。東京都からは意思決定支援コースについて横山委員、障害児支援コースについて宮田委員、就労支援コースには事務局から樋口を推薦し、受講決定されている。 ・9月10日からの3日間は日本橋会場で実施。基礎研修コースに徳嵩委員、実践研修コースに小出委員、更新研修コースに皆川委員、自治体コースに事務局から小野瀬を推薦し、受講決定されている。 ・次回の第3回検討会で、国研修の報告の時間を設ける予定。参加された皆様には、報告をお願いします。
妹尾委員長	・ありがとうございました。ここまでで、ご質問や確認事項等がおりな方は挙手をお願いします。
各委員	(挙手なし)

3 検討事項

妹尾委員長	・早速、検討事項1、横断的な課題の検討に入らせていただく。 ・本日は、第1回の検討会で確認した、横断的な課題の意見交換と通常の研修ごとの検討チームとの話し合いを行う。 ・横断的課題の意見交換の時間は11時10分頃まで。その後、研修検討チーム、各チームでの話し合いは11時45分頃までの予定。 ・横断的な課題の意見交換の進め方を事務局から説明をお願いします。
事務局	・今回初めて横断的な課題に取り組んでいきたい。ご多忙の中、研修検討チームごとにメーリングリストで事前の意見交換を進めていただき感謝申し上げます。 ・この後は3つのグループに分かれて話し合いをしていただく。計画についての横断的な課題が多く出されたので、2つに分けさせていただいた。 ・お手元の資料1の横断的な課題シート中、1から4枚目までが計画Aのグループ。計画Aのグループには、相良委員と清水委員と樋口委員と更新の徳武委員に入っていただきたい。 ・資料1の5枚目から10枚目が計画Bのグループで岡田副委員長、吉田委員、宮田副委員長、会田副委員長に入っていただきたい。 ・会議のグループは課題シート6枚について話し合いをしていただきたい。基礎の徳嵩委員、横山委員、小出委員、渡辺委員、丹澤委員に入っていただきたい。 ・本日の話し合いは、各研修検討チームから挙げられた引っかかりごとについて、どのように解決していくとよいかの方向性を意見交換し、解決策をまとめていただく。 ・具体的にどう教材に落とし込むかは、各研修検討チームで話していただく

	ことになるので、ここでは解決策の方向性について話していただくことをお願いしたい。 • 例えば、この引っかけりごとの解決策として、ここまで基礎で触れましょう、実践ではここまで触れましょう、更新ではワークとしては実際には触れないけれども、確認する時間を設けましょうといった共通認識を全体で持てるとよいと考えている。 • まずは、自由に意見交換をしていただき、解決策にまとめたら、それぞれのホワイトボードに貼った「講義、演習、ワーク、説明の補強、その他」というカテゴリー分けをしたらどうかと考えている。例えば、この解決策については講義として解決したらどうかといったことに「解決策カテゴリー」と名前をつけてみた。カテゴリーを割り振ることもやっていただきたい。 • 参考として、今研修で使っている研修教材と、国の指導者養成研修で配付されている資料を皆さんがモニターで確認できるように準備しているので、必要に応じて見ていただきたい。 • 計画のBと会議は、引っかけりごとが多いが、事務局で中身を確認したところ、計画Bについては、頁番号でいうと5頁目と8頁目と10頁目、それぞれ基礎、実践、更新のチームから出された引っかけりごとで、研修の連続性とか連動に関する引っかけりごとになるので、併せて意見交換ができるのではと整理をしてみた。 • 同じように、会議は、12頁目と14頁目がそれぞれ基礎と実践から会議の名称を統一してみたいとの引っかけりだった。また、13頁目と15頁目が、会議の整理をしたいという内容だったので、併せて議論することで時間短縮につながるのではないかと考えている。 • 話合いの時間が30分しかないので、まとめて扱えるものは一緒に議論するなどの工夫をしていただきたい。 • 時間的に全ての解決策を完全にまとめることは難しい。合意を得ることが難しそうなテーマは、そのことを課題として残していただきたい。 • 話し合った内容は事務局で横断的な課題シート④、⑤に落とし込んで、後日、全体会のメーリングリストで共有させていただきたいと考えている。
妹尾委員長	• 進め方について確認がある方は挙手をお願いします。
各委員	(挙手なし)
事務局	• グループに分かれたら、まず、全体共有するときの発表者を決めていただきたい。
妹尾委員長	• 早速、グループに入り、進めていただきたい。

(グループ討論)

妹尾委員長	• 短い時間で盛りだくさんの内容を皆さんで検討いただいた。全ての話は網羅し切れなかったかもしれないが、現時点で話し合った内容の報告を、計画A、計画B、会議の順番でお願いしたい。
樋口委員	• 計画Aの説明をさせていただく。1、2、3頁目と頁に沿っていきたい。まず、1頁目のアセスメントについて、基礎研修でやっているアセスメントでいいのか、もう少し具体的にアセスメントで、どうやるかという話ができたらいいのではないかとこのところ。

	・ 最初（基礎研修事例の）竹村さんのアセスメントをしていくことは、時間的には難しいのではというのと、ニーズやストレングスもアセスメントの一部であるから、今の基礎研修のアセスメントの分量が丁度良いのではないかと、深掘りするのは実践研修でやるなどの意見が出ていた。 ・ 基礎研修で取り組んだニーズやストレングスを実践研修の中で忘れていた受講者もいるので、アセスメントとしては今の基礎研修が良いのではという意見が大半だったと思っている。 ・ 続いて、2 頁目の I C F に関して、基礎研修は講義動画で扱っているが、演習では全くない。必要性を感じるが、基礎研修で I C F を演習に取り入れると広がり過ぎて、逆に本人主体という伝えたいことが伝わらなくなるのではという点から、I C F は基礎研修では講義動画ぐらいで、実践研修でもどう扱うかと悩みながら深めていきたい。 ・ 3 頁目、ニーズについて、基礎研修のニーズ整理表などが昨年度から変わったがどうかというところで、リアルニーズを意向に書きましょうという説明がある。竹村さんと会って B 型の職員がいきなりリアルニーズを書くというよりは、最初はフェルトニーズに近い竹村さんの思いを書いて、リアルニーズはどちらかという具体的な支援方法になっていくかということや、モニタリングで徐々に竹村さんとの信頼関係ができたり、竹村さんもいろいろ経験してエンパワーメントされたりして、リアルニーズになっていくと思うと、そういうことが伝えられると良いのではと話しをした。ただニーズの整理表に関しては、前の十字になっているものよりもスムーズにできていて、今のほうがより分かりやすいのではという意見だった。 ・ 4 頁目、1 0 0 文字要約に関しては広がった竹村さんの情報を整理する。要約する時間は大切でないかというところ。ただ 1 0 0 文字にこだわらなくてもいいのではという意見もあった。でも要約は必要というのか、整理するのは必要というのが大半の意見だった。
妹尾委員長	・ ありがとうございます。では、計画 B をお願いしたい。
吉田委員	・ まず、0 7 の P D C A サイクルについて基礎研修に求めることで、基礎で P D C A というのは、演習のまとめで触れている。作成の P D C A というより、モニタリング・再作成を含めて結果的に P D C A サイクルに沿って計画を作成している。実践研修はそれに質の底上げ、更新研修が確認程度で触れている。 ・ 基礎だと、P D C A の計画作成のところでフェルトニーズやノーマティブ、エンパワーメントなどの専門用語が、基礎の受講者にしたら分かりづらい説明や、ややこしい用語がたくさん出てきているので、例えば用語の作成集や基礎で使った図を実践でも使ったり、共通言語にして実践、更新につなげていったほうが良いのではという意見や、基礎の演習ノートを取り返る仕掛けを実践につくり、それを確認していくのが更新になったり等、基礎の演習ノートをしっかり使って振り返りをしていく形で、P D C A という流れに沿って、研修が回っていく仕掛けをしたら良いのではという意見が出た。 ・ 0 6 の総合的な援助の方針の捉え方だが、今回基礎ではサービス等利用計画からの転記のような、書き写してくださいという形でやっているが、書き写せばいいのではといった感じで受講者に捉えられてしまうと良くな

	い。サビ計から総合的な援助の方針を、それぞれの事業所で考えることも大事ではというところで話に出たのは、利用者の全体像を捉えるという意味では100文字要約も取り入れてもいいのではないかと。昔、取り入れていたが、改めて転記すればいい、書き移せばいいということではなくて、今回で言うと竹村さんの全体像を知る上では、現在、過去、未来が100文字要約で本人の全体像を捉えられるから、そういう点で入れてもいいのではないかと、総合的な援助方針の捉え方で話をした。 ・09の各研修の目的の整理、質の向上について、基礎では計画作成を覚えていく、実践では質の底上げ、更新はその検証をしていく。基礎で東京都の目指すリーダーという説明はしているが、リーダーの姿や研修の目的を実践につなげられるように、もう少し深掘りをして説明していく。 ・OJTで2年間をどう過ごすかについて、目的の整理、受講者の質の向上につながっていくのではということで、基礎研修でも“OJTまでにしておいて”という手紙を最後に作っている。受講者から、上司であるサビ管や施設長に「やってください」と言うことも大事だが、それだけでは2年間やってもやらなくても実践研修を迎えてしまうところがある。OJTをする側にも何か仕掛け、意義も含めて伝えていかないと、なかなかOJTをやりましょうという感じにならず、2年間で過ぎてしまうのではないかと。そのOJT期間が、質の向上にとっても大事ではないかと話が出た。 ・最後は、05、08、10の研修の連動性について。今まで話し合ったところにも全て共通するが、やっぱりOJTやリーダーの姿を基礎、実践でもしっかり説明する。逆に実践から、「2年前に基礎はこういうことをやりましたよね」というリーダーの姿を伝えていく。 ・どうしても基礎研修が終わると少しほっとしてしまい、更新とか実践に入ったときに、こうすれば連動性が出ると思っていても、そのまま何となく過ぎてしまう。そのときに思った生の意見というか、他の分野の方たちがファシリテーターをやったときに感じたことをメーリングリストとか、その場でリアルタイムに進行スライドを共有して、「こうしたらいいかも」といったことが、素早く共有できるような仕組みや場があると、さらに連動性がある研修になるのではといった話があった。
妹尾委員長	・ありがとうございました。では、会議の部分で話し合われたグループの発表をお願いしたい。
丹澤委員	・01の相談支援専門員との連携は難しいので今日はやめる方向だったが、そちらも話し合いができた。 ・会議の名称の統一とプロセスの確認、基礎と更新で扱う個別支援会議の整理、会議の名称統一、各会議の目的の整理、内容の整理及び更新研修で意識してほしいところが、一言で言うと名称の統一になる。今回は会議の名称の統一が必要ではというところを中心に話し合った。 ・例として、更新研修に出てくる会議の名称を1枚の紙にまとめ、皆さんに一覧を配付した。基礎研修、実践研修、更新研修で共通なものがサービス担当者会議、個別支援会議、意思決定支援会議。これは全ての研修において統一だよねという話が出て、その三つを深掘りするような話し合いになった。 ・例えば、個別支援会議はいろいろと種類があり、事前会議もあったり、計

	画のプロセスで目的が異なる会議を開催しているところがある。分かりやすく説明されているのが、基礎研修の演習6の個別支援会議のところ。会議の種類によって図で色分けもされ、分かりやすく示されているので、私たちの裏資料として統一のものとして使っていく。それを見ながら、「今の会議はこの立ち位置で、ここの中に入る」と共通にしていけばいいのではないかとの話が出た。 ・加算に関係する会議、例えば医療、保育、教育機関等との連携加算に関わるため名称は変わりようがないので、これは統一というところで押さえておこうと話をした。加算については国が決めているものなので、国の言葉を使っていこうとなった。 ・今後、言葉の統一については、演習ノートに入れていこうというところ。基礎と実践は会議も重なるところがあるので、演習ノートに入れていこうという話と、更新では、会議名称は多くないが、例えば「何々会議で使用します」と、会議名を統一したものを進行スライドの読み原稿の中に入れていけばいいのではないかということ。 ・更新研修で出てくる会議の種類の言葉だが、作る担当によって、会議の名称が変わっていたところもある。例えば、計画作成に至る会議、関係機関との連携会議、関係者会議等、様々な言葉が出てくるので、名称を統一させることで、同じ意味合いの会議というふうにしてはどうかという意見があった。
妹尾委員長	・短い時間にもかかわらず、各グループの方、かなり話を煮詰めていただき、ありがとうございます。補足や質疑はあるか。
各委員	(なし)
妹尾委員長	・今の報告を聞いたところ、おおむね話としては皆さん到達をしたように思うので、検討事項2に移らせていただく。 ・ここからは通常の研修検討チームに分かれ、それぞれの研修課題について話し合う時間にしたい。話合いの中で、第1回の検討会で話題になった、言葉の統一の検討方法についても取り上げていただきたいと思っている。検討方法の案について、事務局から説明お願いしたい。
事務局	・言葉の統一を図っていきたいとの声があったので、今年度の更新研修の演習ノートに添付している言葉の説明、用語集を資料3としてつけさせていただいた。 ・基礎研修や実践研修でも扱う用語が、更新研修の用語集にも入っているのではないと思う。 ・東京都のサビ管・児発管研修として明確にしておきたい言葉がどういったものだろうかとか、今後、このような用語の説明をどう取り扱うかというあたりについて議論いただき、それぞれの検討チームから報告いただけたらと思っている。
妹尾委員長	それでは各研修チームに分かれていただきたい。

(グループ討論)

妹尾委員長	・それでは各副委員長から、報告をお願いしたい。はじめに言葉の統一についてのチームの見解、その後に研修ごとの検討の結果をお願いしたい。基礎研修、実践研修、更新研修のチームの順番でお願いしたい。
-------	---

岡田副委員長	・言葉の説明を一つ一つ確認していった。これが基礎にあるべきかどうかと 思ったりもしたが。 ・実践、更新と進んでいき、これは基礎で出たよねとか、これは実践で使える といった話しも、「これは知りませんじゃないよね」と受講者にファシリ として言えるのではないかという意見もあった。 ・言葉を換えてほしいとか、用語の説明のズレとか、基礎研修で使っている 用語をもう少し入れてほしいといった意見もあったが、今後どう進めてい ったらいいかと思っている。 ・基礎研修で、例えばストレングスやリフレーミングについて演習の中で説 明していくので、共通にしていけたらよい。 ・基礎研修の方は、今4日程、D日程までやっている最中なので、どうかと いうところを共有した。リアルニーズを、今年はまたアセスメントから手 をつけていて、割と手応えは良いと思っている。第2回とか次年度に向け て、さらなるブラッシュアップができるというところ。最初に横断的なと ころでも話題に出てきた、100文字要約をやっぱり入れていきたいが、 どうしたら入れていけるかということを話し合っている。
宮田副委員長	・まず用語について、実践研修でも今年度から演習ノートの巻末に入れたい と思っている。 ・追加で入れていただけたらというのがいろいろ出ていて、モニタリングが あるのでアセスメントもあっていいとか、ニーズがあるのでフェルト ニーズ、またノーマティブニーズの三つの用語があるといい、ストレング スがあるがウィークネスがないので欲しいなど。 ・ストレングスのところにリフレーミングとか関連用語があると、リフレー ミングのところを見ると、「こういう意味で、これがストレングス、ウィー クネスの転換なんだ」と分かったりしていいという意見があった。 ・どこまで入れるかという話として、個別支援計画の原案はあるけど、では 計画は、(案)はといった区別や関連するものは網羅できるように入れられ ると良いという話が出た。 ・専門用語と国語的な意味みたいなものが混在する感じがあるので、国語的 な難しい言葉をかみ砕くというよりは、専門用語に特化する感じで整理し てもいいかなとか、実践研修では出てこない用語もたくさん入っているの で、それでファシリを捕まえられちゃうと、それも困る感じがするので、 さっきおっしゃったように、この用語は更新研修で出てくるみたいなこと を言ってもらえると、「今は実践だから別に分からなくてもいい」みたいな 感じになるのかなと。全部の用語が分かっていなくちゃおかしいと思う と、不安になる方もいるかという話しがあった。 ・あとは実践研では基礎研の振り返りとして小テストみたいな事前課題をや るが、この巻末を見ると、答えが分かるといえば分かるので、やってみ て、そこに気づいたんだったらすごいといった感じでもいいか、今年入れ てみてどうかと話が出た。 ・実践研修自体としては、竹村さんの事例を基礎から実践まで使っていた ほうが連動感が出るかということ。ただ、年齢や関係する機関等いろいろ あるので、今年度は間に合わないかなという感じ。今後は、皆さんが実践 研や基礎研をされる中で、ご意見があればぜひお聞かせいただきたいと思

	っている。 ・基礎研で三つのニーズの表が今年新しくなったということなので、実践研も新しいものに書き換えるというのがある。 ・ＩＣＦについては、基礎研でも講義で触れているし、分野別の児童分野でもＩＣＦは出てくるし、相談支援でも出てくるので、これだけ出てくるのであれば、説明はどこかで要るかという感じはしている。結構重たい、ボリュームなものなので、なかなか難しいが、今までは事例検討会で入れていたが、アセスメントはモニタリングに入れたほうがしっくり来るかと思ったので、今回、モニタリングの情報を整理するところで、アセスメントシートにＩＣＦを入れ込んで説明し、ＩＣＦの整理の仕方アセスメントしてみることを、やるとはなかなか言いにくいですが、できたらいいと思っている。
会田委員	・言葉の統一について、更新研修チームは丹澤さんが中心にまとめてくださって、メーリングリストで意見交換しながら作ったので、それに関しては基礎研修、実践研修の方々の意見を踏まえて、再度また練り直せばというところにとどめている。 ・打ち合わせた内容としては、直近でスーパービジョンについての説明会の撮影が８月２１日にあるので、その撮影会に向けてポイントとなる部分を確認したところ。去年は集合型で説明会を実施し、そこで質問を受けたりもしていたが、今年度は撮影をし、それを動画配信して、一定期間の中で視聴をしていただくので、ご覧になったことをアンケートにまとめて、質問を受け、お答えしていければということで、アンケートの内容についても確認をしたところ。 ・演習での事例検討のスーパービジョンが、昨年度は各グループに分かれて実施をしてもらっていたが、今年度は教室全体で行うので、事例提供をファシリテーターの方、グループスーパービジョンの進行役を教室進行の方、あとはファシリテーターの方が最初にお手本の質問をするなど、ファシリテーターの方たちの仕事が増えるので、そこをいかに強調できるかというところ。 ・国研修で良かった点を説明会の中に入れて、それを意識して、当日グループスーパービジョンに臨めるといいかといった、説明するポイントなどを確認した。
妹尾委員長	・どうもありがとうございました。特に補足や質疑等はよろしいか。事務局からもよろしいか。
各委員・事務局	(なし)
妹尾委員長	・本日は横断的な課題の検討について、皆様から意見もいただいた。次回以降の進め方等について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	・次回も横断的な課題について、今日と同じように検討する段取りを考えている。第３回についてもテーマが二つあり、一つが人材育成や自立支援協議会についての引っかけりごと。もう一つが、就労系や居住系、児童といった様々な分野の受講者の方がいる中での受講者の対応についての引っかけりごととなっている。 ・メンバーは、人材育成のほう相良さん、吉田さん、清水さん、樋口さ

	ん、渡辺さん、丹澤さん、更新の徳武さん、もう一つの分野の異なる受講者の対応のほうで、岡田さん、基礎研修の徳嵩さん、横山さん、小出さん、宮田さん、会田さん、皆川さんとなる。 ・第3回に向けて、第2回と同じようにメーリングリストで引っかかりごとについて意見交換をしていただき、シートを作って、それについて検討会で検討するという形を取りたいと思っている。また事前にいろいろと協力いただくことになると思うが、よろしくをお願いしたい。
妹尾委員長	・特に次回以降の進め方について、皆様から質問とか、懸念事項等はよろしいか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	・議事録と資料のホームページ公開について、委員の皆様、ご了承いただけるか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・本日の検討事項が済んだことを宣言し、進行を事務局に戻したい。
事務局	・妹尾委員長、進行ありがとうございました。事務連絡に移る前に、事務局から案内がある。
和田地域支援課長	・地域支援課長の和田です。今日も討議を聞かせていただき、ありがとうございました。次回が自立支援協議会に関して引っかかることの案内があったところで、私どもは東京都自立支援協議会の事務局も担っており、毎年12月に東京都自立支援協議会セミナーを開催している。こちらは、都民の方に広く知っていただきたいということで、情報発信としての位置づけになっている。 ・今年度は令和7年12月12日の金曜日の午後に、会場は都庁で、2時間程度になる。今年度の東京都自立支援協議会の活動方針が、「当事者が望む地域生活を支える～相談支援とは何かを考える～」ということで、当事者が望む支援をどう考えるのかというあたりがテーマになるので、皆様にも関係するところではないかなと思っている。 ・古くから相談支援をやられている福岡寿さんの基調講演が1時間、その後1時間ちょっと、パネルディスカッションには当事者の方も加わっていただき、当事者から見ると、望んでいる生活はこうなんだよというあたりの経験、当事者の視点、支援者の視点について情報共有と発信をしていこうというもの。時期になったら案内はさせていただきたい。お忙しいとは思いますが、ぜひ参加いただければと思う。
事務局	・最後に事務連絡になる。第3回までの間に、本日の議事録案を事務局で作成して、皆様に確認の協力をお願いしたい。その後、本日の資料とともに、東京都心身障害者福祉センターのホームページに議事録案は掲載させていただく。 ・次回の第3回検討会は、11月11日火曜日を予定しており、会場は今日と同じ会場になる。時間が9時45分から11時45分までとなっているので、ご注意を。詳細は改めてご案内する。 ・以上で閉会とさせていただく。忙しい中のご参集、ありがとうございました。